

平成22年12月2日
国土交通省鉄道局

「首都圏ホーム事故対策会議」の結果について

標記会議が下記のとおり開催されましたので、その結果の概要をお知らせします。

記

1. 日 時 平成22年12月2日(木) 16:30~18:00

2. 場 所 国土交通省合同庁舎3号館 11階特別会議室

3. 出席者 別紙1のとおり

4. 議 題

- (1) 首都圏における人身障害事故等の傾向について
- (2) 各鉄道事業者におけるホーム事故防止の取り組み等について
- (3) プラットホーム事故"0"運動の実施について
- (4) 平成22年度年末年始輸送安全総点検での取り組みについて
- (5) その他

5. 結果の概要

- (1) 人身障害事故等の傾向、非常停止押しボタン等の整備状況等について報告された。(別紙2のとおり)
- (2) 関係事業者が一斉に「プラットホーム事故"0"運動」を実施することが確認され、その一環として、
 - ① 警備員等の巡回、構内・車内放送等による注意喚起等の対策を、ホーム事故の発生状況に応じて強化する。特に、ホーム事故が多発する金曜日の夜をターゲットに重点的に行うこと
 - ② ホーム事故対策を年末年始輸送安全総点検の重点項目として取り組むこと
 - ③ 共同ポスター(別紙3)を製作して、一斉に事故防止をPRすること

とされた。

【連絡先】

国土交通省鉄道局安全監理官室 担当 笠原
03-5253-8111(内40772)
03-5253-8549(直通)

首都圏ホム事故対策会議 出席者名簿

1. 鉄道事業者

東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役 副社長	石 司 次 男
東武鉄道株式会社 取締役 鉄道事業本部長	牧 野 修
西武鉄道株式会社 取締役 常務執行役員 鉄道本部長	金 杉 和 秋
京成電鉄株式会社 常務取締役 鉄道本部長	金 子 賢 太 郎
京王電鉄株式会社 常務取締役 鉄道事業本部長	川 杉 範 秋
小田急電鉄株式会社 専務取締役 執行役員 交通サービス事業本部長	嶋 崎 章 臣
東京急行電鉄株式会社 常務取締役	今 村 俊 夫
京浜急行電鉄株式会社 常務取締役 鉄道本部長	原 田 一 之
相模鉄道株式会社 常務取締役 施設部長	長 谷 川 正 昭
東京地下鉄株式会社 代表取締役 副社長	奥 義 光
東京都交通局 車両電気部長	広 川 徳 彦
横浜市交通局 技術管理部長	伊 佐 見 孝 夫

2. 関係協会

関東鉄道協会 技術部長	北 野 忠 美
-------------	---------

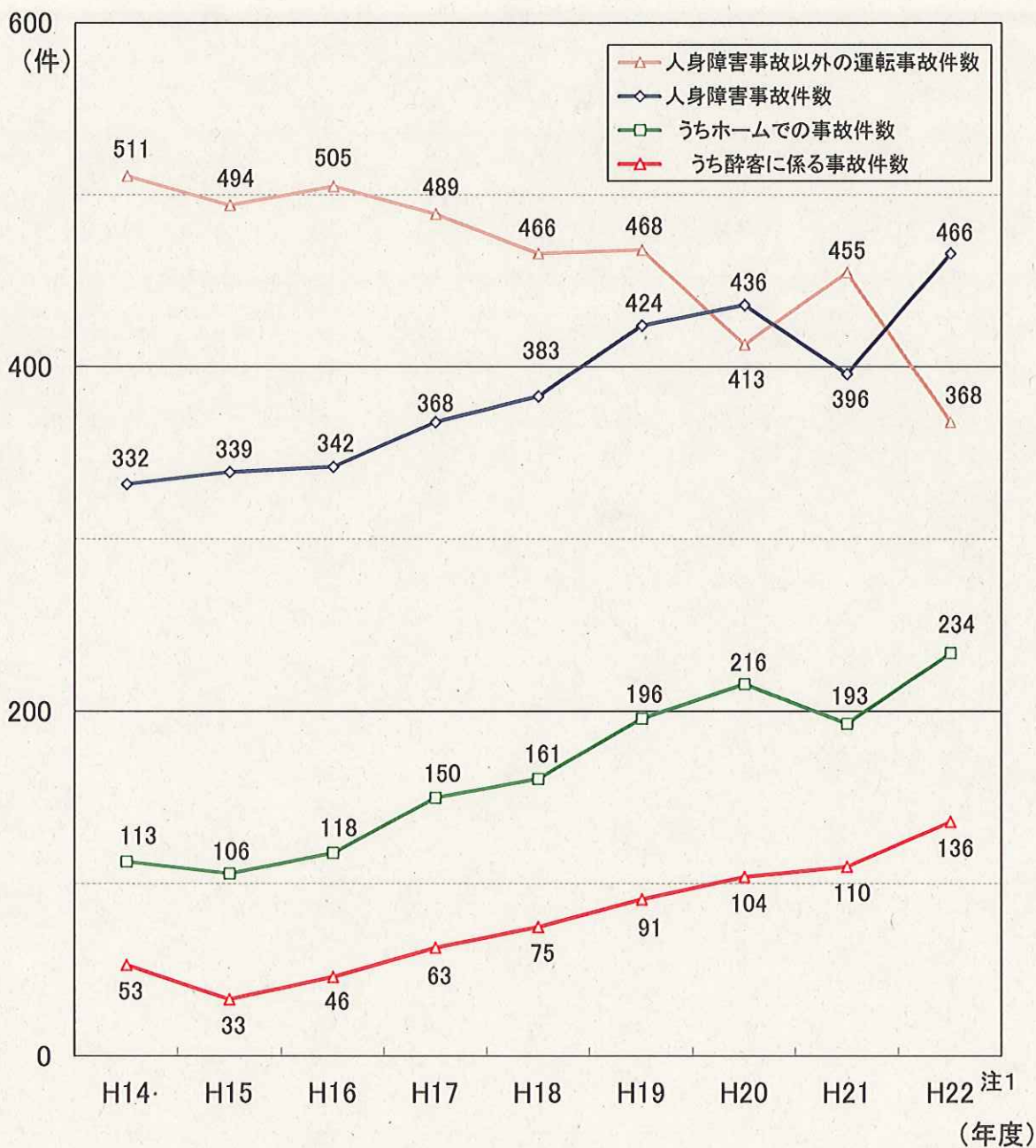
3. 国土交通省

大臣政務官	津 川 祥 吾
鉄道局長	久 保 成 人
鉄道局 鉄道業務政策課長	長 谷 川 豊
鉄道局 技術企画課長	北 村 不 二 夫
鉄道局 施設課長	高 橋 俊 晴
鉄道局 安全監理官	中 桐 宏 樹
鉄道局 首席鉄道安全監査官	押 立 貴 志
関東運輸局 鉄道部長	段 原 二 郎

首都圏における人身障害事故等の傾向

1. 鉄道運転事故全体では近年横ばい傾向であるが、人身障害事故は増加傾向。特にホームでの人身障害事故、なかでも酔客に係る事故が増加傾向。(グラフ1)
2. ホームでの人身障害事故の増加は、特に首都圏(1都3県)で顕著。(グラフ2-1~2-3)
3. ホームでの人身障害事故は、12~2月に多く発生する傾向。(グラフ3)
4. ホームでの人身障害事故は、金曜日の21時~翌1時に多く発生する傾向。(グラフ4、5、6)
5. 列車と接触しない単なるホームからの転落も、首都圏では酔客に係るものが多い傾向。(グラフ7)
6. 非常押しボタン等の人身障害事故の防止対策設備の整備は進捗。転落による列車との接触の防止には一定の効果。(グラフ8)
7. 平成22年度の上半期のデータでは、酔客の転落は50代の男性が比較的多い。(グラフ9)

1. 人身障害事故件数等の推移(全国)

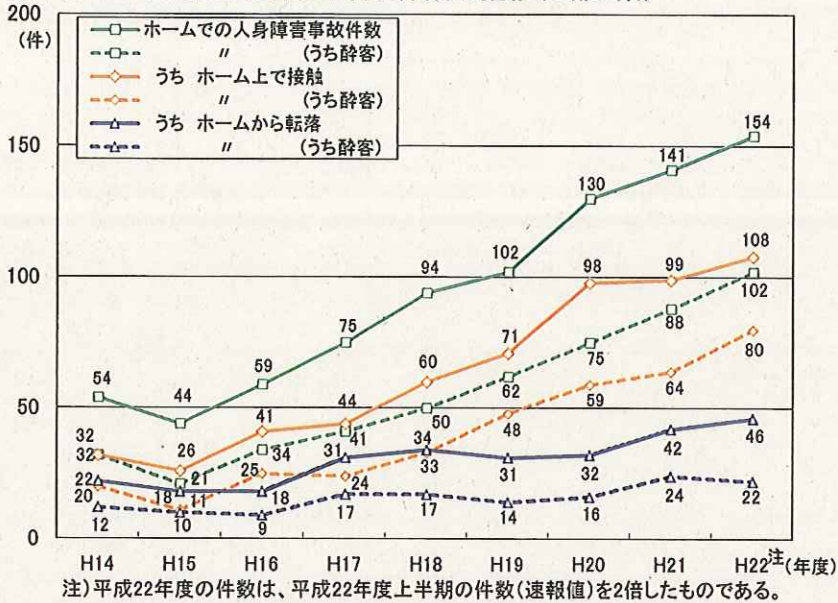


注1) 平成22年度の件数は、平成22年度上半期の件数(速報値)を2倍したものである。

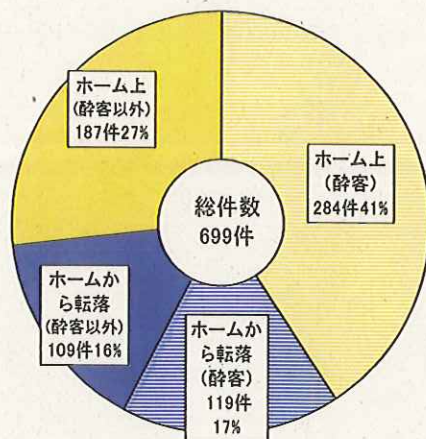
注2) 人身障害事故以外の運転事故とは、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故及び物損事故をいう。

注3) 自殺によるものは、人身障害事故としていない。

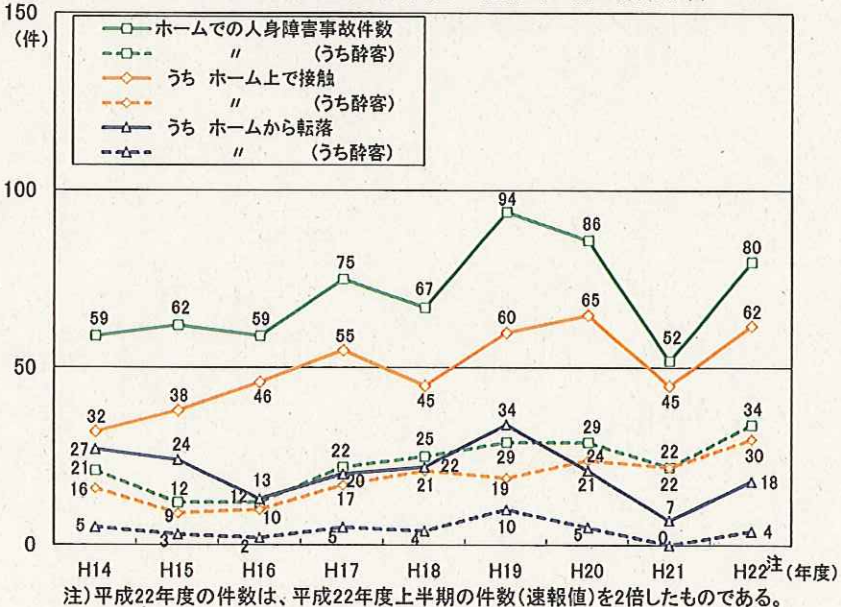
2-1. ホームでの人身障害事故件数の推移(1都3県)



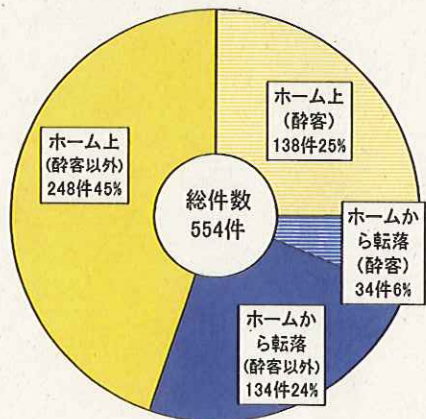
○1都3県(平成14~21年度)



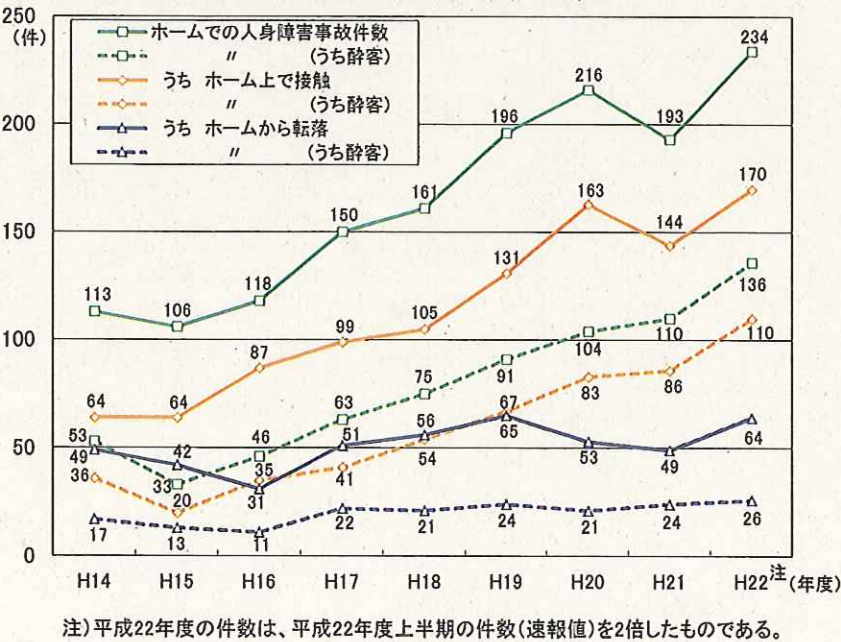
2-2. ホームでの人身障害事故件数の推移(1都3県以外)



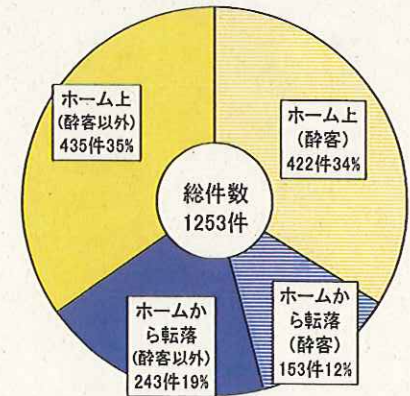
○1都3県以外(平成14~21年度)



2-3. ホームでの人身障害事故件数の推移(全国)



○全国(平成14~21年度)



3. 人身障害事故の月別発生状況(全国・平成14～21年度合計)

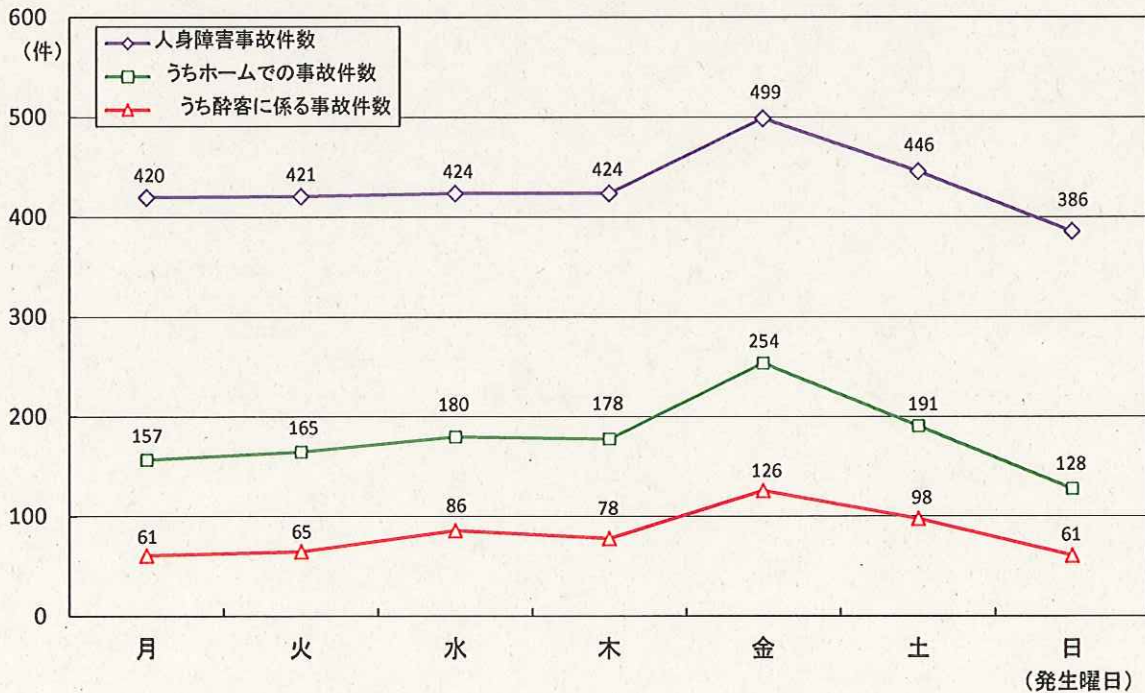
件数<折れ線グラフ>

1日当たり件数<棒グラフ>



注) グラフ3～6は、平成14～21年度に発生した人身障害事故合計3,020件を分別等したものである。

4. 人身障害事故の曜日別発生状況(全国・平成14～21年度合計)



注) 曜日別について、0時から終列車までに発生した事故は前日に発生したものとして計上している。

5. 人身障害事故の時間帯別発生状況(全国・平成14~21年度合計)



注)時間帯別について、例えば「4時」は4時00分~4時59分に発生した事故の件数である。

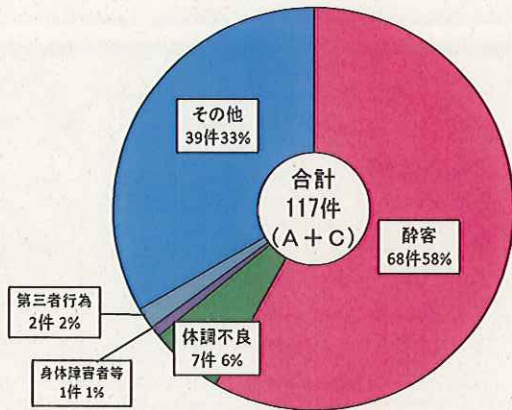
6. ホームでの酔客に係る人身障害事故の時間帯別発生状況(全国・平成14~21年度合計)



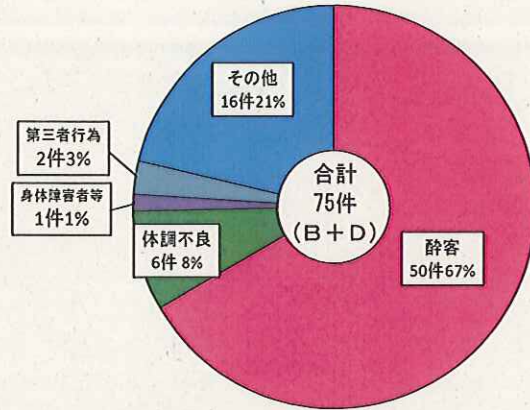
注)酔客に係る時間帯別について、0時から終列車までに発生した事故は前日に発生したものとして計上している。

7. ホームでの事故等の状況(平成22年度上半期)

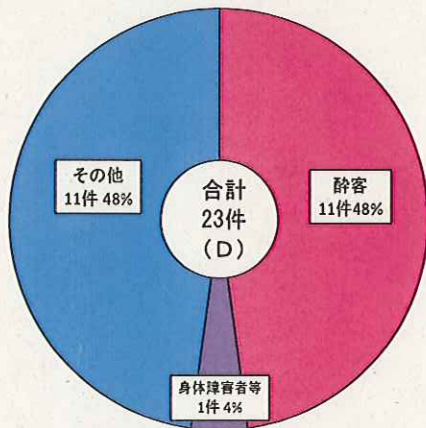
①ホームでの人身障害事故(全国)



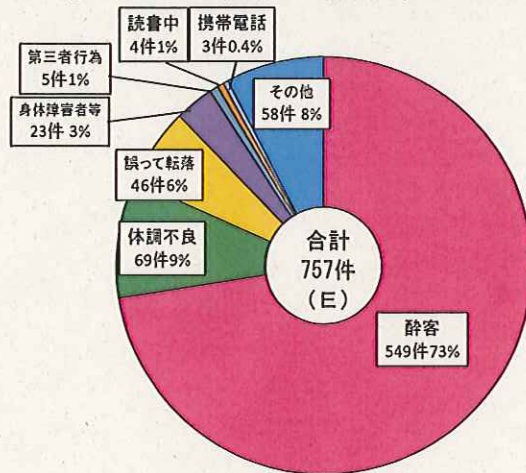
②ホームでの人身障害事故(12社局)



③ホームから転落(人身障害事故・12社局)



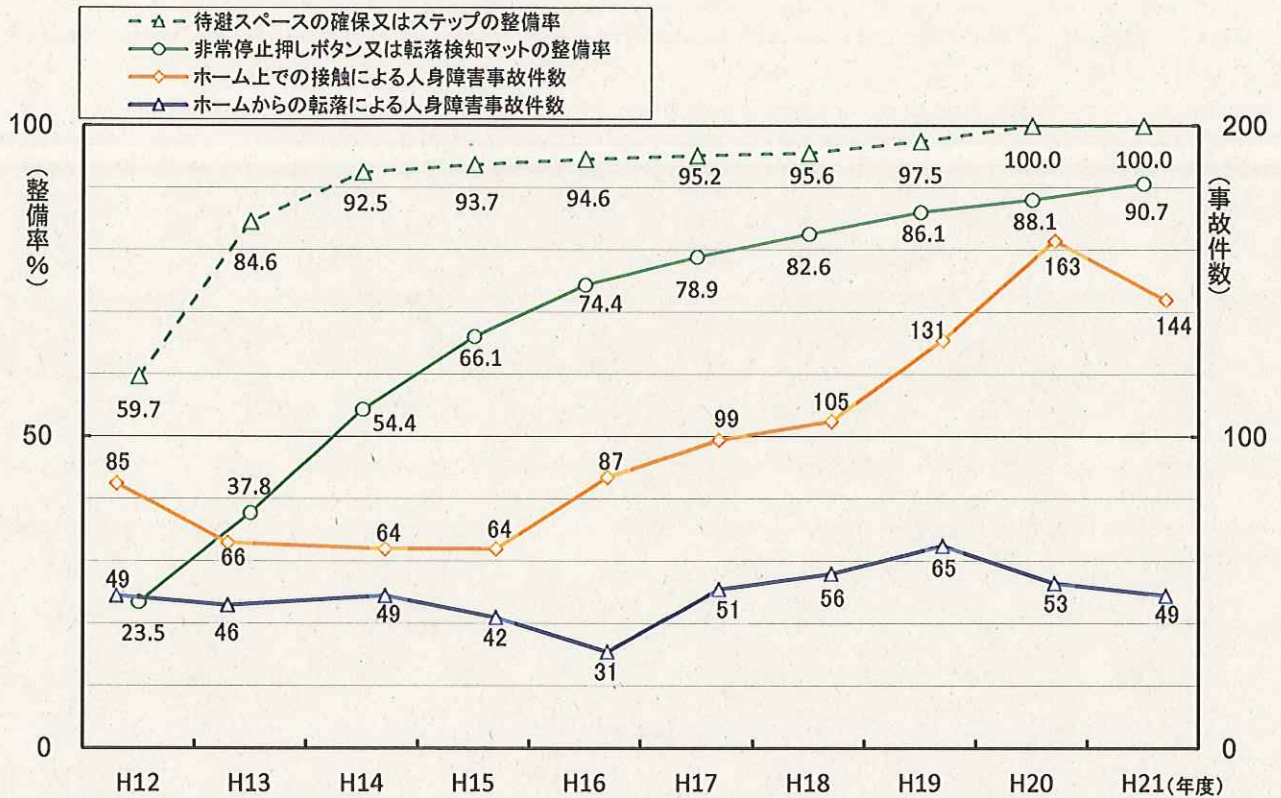
④ホームから転落(人身障害事故以外・12社局)



事故等種類等 原因	人身障害事故				人身障害事故 以外
	ホーム上で接触		ホームから転落		ホームから 転落
	全国	うち12社局	全国	うち12社局	12社局
酔客	55	39	13	11	549
体調不良 (貧血等)	7	6			69
誤って転落					46
身体障害者・ 車いす使用者			1	1	23
第三者行為	2	2			5
読書中 (新聞、漫画等を含む)					4
携帯電話機使用中					3
その他	21	5	18	11	58
計	A 85	B 52	C 32	D 23	E 757

注)「人身障害事故」は、列車等と接触し死傷した事故で、ホームから転落し列車等と接触がなかった場合は、「人身障害事故」ではない。

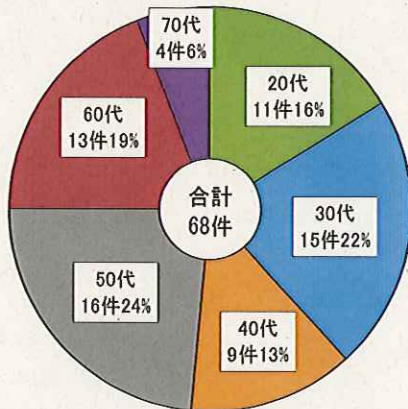
8. ホームからの転落による人身障害事故の防止対策設備の整備率及び事故件数の推移(全国)



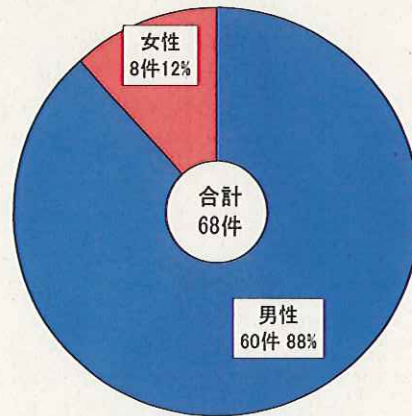
注) 整備率は、列車の進入速度が概ね60km/h以上であり、かつ、1時間当たり概ね12本以上の列車が通過又は停車するホームを有する駅(2,074駅)における整備率を示す。

9. 年別・性別 酔客に係るホームでの人身障害事故の内訳(全国・平成22年度上半期)

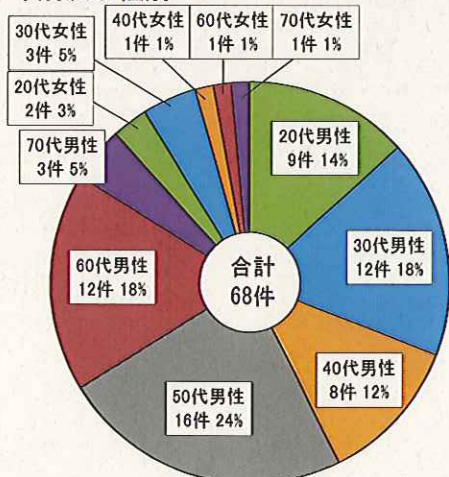
①年別



②性別



③年別及び性別



危険ですよ！ホームのながら歩き。



プラットホーム事故(ゼロ)運動

鉄道21社局合同キャンペーン

小田急・京王・京急・京成・JR東日本・新京成・西武・相鉄・東急・東京メトロ・東武・東京都交通局・横浜市交通局
いすみ鉄道・江ノ電・埼玉高速・東葉高速・北総・横浜高速・流鉄・りんかい線 後援：国土交通省